

## 送辞

肌をくすぐる風にも、かすかなぬくもりを感じる季節を迎えました。

輝かしい今日という日に旅立たれる卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませす。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

今、先輩方と過ごした時間を振り返ってみると、多くの思い出がよみがえってきます。私たちが入学した当初、何もわからなかった私たちに寄り添い、私たちの背中を押してくださいました先輩方。不安だらけの私たちに大きな勇気と希望をよんでくださいました。そんな先輩方と過ごした中学校生活の中で、最も多くの時間を過ごし、身近に感じることができたのは、やはり部活動でした。入部してまもなく私たちが温かく受け入れて、いろいろなことを教えてくださいました。新型コロナウイルス感染症拡大にともない、常にマスクの着用や、活動時間の制限など、思うように活動ができない中、先輩方は、そのような制限をもろともせず、いつも一生懸命に取り組んでおられました。そんな先輩方の姿は頼もしく、私たちを勇気づけるとても大きな存在でした。私たちも先輩方のようになりたいと心から思える瞬間でした。まだまだ先輩方には及びませんが、少しでも先輩方のように頼れる先輩となれるよう、これからも努力していきたいと思えます。

次に学校行事です。今年度の合唱コンクールは、中止になってしまい、本当は先輩方が一番悔しく、残念に思っていたはずなのに、私たちに「来年は頑張つてね」と励ましてくださったことは今でも忘れません。先輩方の私たち後輩への優しさを感じる場面でした。

体育大会では、「心の三密（团结・思いやり・情熱）」をスローガンに、その目標を達成するために、様々な工夫をこらし、感染対策を行いながらとても熱心に活動に取り組んでおられました。私たち後輩がうまく練習に取り組めなかったときも、決して見捨てることなく、時に厳しく、時に優しく、一つ一つ丁寧に教えてくださいました。事前の活動も本番も時間が短縮されるなか、短い時間とは裏腹に、濃密で心に残る素晴らしい体育大会となりました。体育大会後のまとめの集会では、勝ち負け関係なくみんなを笑顔にする先輩方の姿に、圧倒されると同時に憧れの気持ちさらさら膨らませました。

生徒会活動では、私が生徒会本部役員になって、何をしたらいいのかわからないときも優しくアドバイスをしてくれたり、手を差し伸べてくださいました。今でもうまくいかないときは、生徒会本部役員の先輩方の教えや姿を思い浮かべ、どうすればいいのか考えながら活動しています。また、これまで男山中学校では実現できなかったみどり広場の利用を昨年度から長い時間をかけて取り組み、見事に実現し今では多くの生徒がみどり広場を憩いの場として利用できるようになりました。男山中学校の新たな伝統を築いた瞬間を目の当たりにし、私たちも先輩方を見習い、これからもより良い男山中学校を築いていきます。

先輩方には、仲間の大切さ、協力することの大切さ、一生懸命努力することの大切さを教えていただきました。男山中学校の校訓「自分を大切に、他人を大切に」をまさに実行してきた先輩方。その先輩方から学んだ多くのことを心にとめ、明日から私たちが最高学年になります。先輩方がおられないのは心細いですが、それでも先輩方のように後輩の手本となり、慕われる男山中学生になります。そして、男山中学校の伝統を引き継ぐ責任を持って、全力を尽くしていきたいと思えます。

それぞれの道に進み、活躍する先輩方を私たちは応援しています。そして、みなさんと共に過ごした思い出は決して忘れません。みなさんも男山中学校で過ごした時間や仲間、私たちをどうかいつまでも忘れないでください。

ご卒業、本当におめでとうございます。卒業生のみなさんの門出をお祝いし、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和四年三月十四日

在校生代表 南鶴 天舞